

hinotoriの膵臓がん手術について

今回は日本泌尿器科学会専門医の角田俊雄先生に「hinotoriでの膵臓がん手術」について伺いました。



▲角田 俊雄 医師

手術の正式な名称は、ロボット支援腹腔鏡下膵臓全摘除術（RAP）です。手術の傷は腹部に6カ所、1〜2cm程度の小さな傷をおき、置貫を通すための筒を挿入してhinotoriとドッキングさせ、術者の操作で手術を行います。摘除された膵臓は膈上の傷を少し抜けて体外に摘出します。

精・勃起障害の副作用がごさいいます。他の治療選択である放射線治療との違いなど、十分に説明・相談してから納得した上で治療を受けられるよう、丁寧な診療を心がけております。

現在、膵臓がんは日本人男性で最も多いがんです。PSA（膵臓特異抗原）という腫瘍マーカーを血液検査で調べること、膵臓がんの可能性を調べることで、手術時間は4〜5時間ほどで、入院期間は10〜14日程度です。膵臓の手術では、解剖学的な理由から術後の尿失禁（尿漏れ）と性機能障害（射

精・勃起障害の副作用がごさいいます。他の治療選択である放射線治療との違いなど、十分に説明・相談してから納得した上で治療を受けられるよう、丁寧な診療を心がけております。

はなりません。まずは泌尿器科にお気軽にご相談ください。

末筆ではございますが、hinotoriの導入にあたりご寄付いただきました皆様、改めて御礼申し上げます。

社会福祉法人 済生会今治病院



社会福祉法人

☎0898-47-2500

今治市喜田村7丁目1番6号

<https://www.imabari.saiseikai.or.jp/>

